

## 7 令和5年度かねやまホームデイサービスセンター事業報告

### 《基本事項》

住み慣れた地域でご本人、ご家族の意向に沿った暮らしを実現するために、潜在的なニーズを把握して必要とされるサービスが提供できる事業所づくりに努める。また、随時、業務の見直しと改善を実行し、効率化の向上と共に安定した運営を目指す。

### 《重点事項》

#### 1. 安定した利用実績のための取り組み

- ① 新規のご利用者を獲得するために、各支援事業所へ情報提供等の働きかけを積極的に行っていく。
- ② 各支援事業者との連携を更に強化して、個々の状態に合わせた適切な利用回数の提案やキャンセル待ち、利用日振替の調整により利用率の向上を図る。
- ③ 利用日当日のキャンセルを減少させるための取り組みを継続して行っていく。

持ち帰り用の月間スケジュール表や個別機能訓練の広報誌を作成する等の利用者増に向けた取り組みと、利用回数の追加やキャンセル時の利用日振替の提案を継続して行った。しかし、家庭内での新型コロナ感染やワクチン接種の副反応による欠席の影響、更に下半期は長期の入院や冬季間ショートステイ利用へ移行するご利用者が昨年以上にあり、実績は伸びなかった。年間の新規契約者17名、延利用者数4,170人、1日当たりの平均利用者は16.22人と目標値には至らなかった。

#### 2. サービス内容の充実

- ① 前年度に行った聞き取り調査の結果や視察研修の内容を踏まえ、新型コロナウイルスの影響により活動が制限される状況にあっても、楽しみや充実感を持って利用して頂けるように企画立案をしていく。
- ② 認知症のご利用者に穏やかな状態で過ごして頂くために、対応の工夫や環境の整備を進める。

季節ごとの行事や食事、おやつ作り等を実施すると共に、外部で開催された作品展示会への出品を企画して社会参加に繋がるようにした。また、インターネットで配信される動画や体操を活動に取り入れて好評を得ることができた。

認知症の対応については、これまでに学んだユマニチュードの技術を活用した個別の対応方法をマニュアル化して、全職員が実践できるようにした。

### 3. 感染症予防の取り組み

① これまでの慣例にとらわれず、業務内容や人員配置の見直しを実施し、効率的な業務を行う。

② 職員各自が光熱水費や燃料代、消耗品費等を意識して業務にあたり、経費の削減に努める。

パート職員のレク活動における役割を見直し、これまでの固定観念にとらわれずに柔軟に業務を進められるようにした。

また、経費の削減については、全職員が常に高い意識を持って業務にあたるように努め、行事食については経費面を考慮して年度途中での見直しを行った。

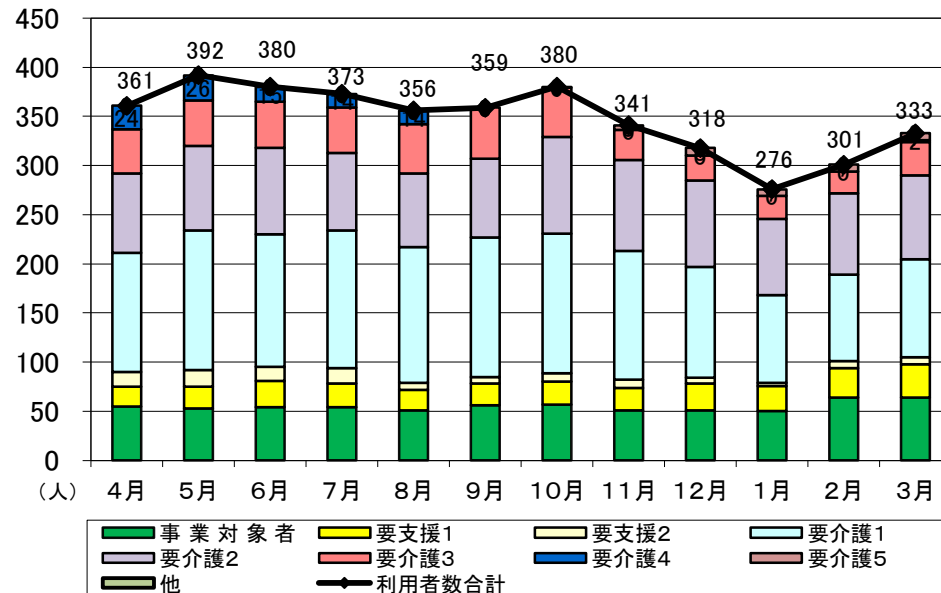
# 令和5年度 介護予防・日常生活支援総合事業・通所介護事業利用状況

かねやまホームデイサービスセンター (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計	合計
事業対象者	55	53	54	54	51	56	323	57	51	51	50	64	64	337	660
要支援1	20	22	27	24	21	22	136	23	23	27	26	30	34	163	299
要支援2	15	17	14	16	7	7	76	9	8	6	3	7	7	40	116
要介護1	121	142	135	140	138	142	818	142	131	113	89	88	100	663	1,481
要介護2	81	86	88	79	75	80	489	98	93	88	78	83	85	525	1,014
要介護3	45	46	47	46	50	52	286	50	30	25	23	22	34	184	470
要介護4	24	26	15	14	14	0	93	0	0	0	0	0	2	2	95
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	1	5	8	7	7	7	35	35
他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用者数合計	361	392	380	373	356	359	2,221	380	341	318	276	301	333	1,949	4,170
1日の平均利用人数	18.05	17.04	17.27	17.76	15.48	17.10	17.12	17.27	15.50	15.14	13.80	14.33	15.86	15.32	16.22

(注) 営業日は毎週月曜日～金曜日(祝日含む、12月30日～1月3日を除く)

## 月別利用者数



## 1日あたりの平均利用者数

